

オピニオン

もっと平易に、もっと過激に

中央区東支部 宮崎 誠 一

今期から中央区東支部の医政委員を仰せ遣ったばかりで、医政の医の字も知らない状態でオピニオンの原稿を書くようにとのこと、医療政治に関しては素人同然なので医師会の立場を離れて、一般人の立場から医師会活動を見ようと試みてみたいと思います。それに対して色々意見、異見があると思いますが、これで、談論風発となり、活発に医師会員が意見を述べ、下意上達の形の医師会になる一助になればと思います。

『ブラックジャックによるしく』という人気漫画がテレビドラマ化され、放映されています。非常に極端な形で、医学部教授、患者さんからの謝礼、医局制度等を描いていますが、自分の子供も、カミさんも興味を持って観ています。一般の人が望む医者の姿が、主人公の姿なのかなと思います。患者さんにとってbestの医者は、名声のある医者でも、地位の高い医者でもなく、自分に全力を傾けてくれる医者だと訴えているようです。少し青臭いですが、自分は医者になって、そういう考えでいた頃を忘れて、医者常識は世間の非常識の世界に入ってきて来てるんじゃないかなと思います。例をあげると、日本医師会は不法投棄された産業廃棄物（医療廃棄物を含む）の処理をすることに対して50万円を寄付しました。実際は、医療機関は処理機関と契約し料金を払っていますから不法投棄は産廃業者の問題で医療機関に寄付を求めるのはおかしいことです。ですが、世間は、ここではマスコミですが、金額の高で寄付が少ないという論調で書いています。話はそれますが、TVのワイドショーでは「マダム訪問」とか「服を見る企画」のコーナーがあり、ご主人は開業医で、奥さんが今月も500万の指輪を買

ってもらったとか、車はロールスロイスとかを3台持っているとか、リストラ、不況に苦しむ世間から見て非常に羨ましい話題が頻繁に登場します。医者から見ても羨ましいですが、非常にはやっている診療所または病院で、それだけの報酬を得てそれを自由に使うことは何も疚しいことはなく、正当な行為なのですが、世間では、医者全体が金持ちとってしまうでしょう。この評価が定着しては、「診療報酬の予想を超える引き下げで、医療機関は大打撃を受けているので早期の解決策を」と叫んでも、世間、マスコミの共感呼びません。対照的なのは同じ資格試験を終る弁護士ですが、数の比率の問題もありますが、まずそのたぐいの番組に登場しません。マスコミ、世間には医者が金を持っているという評価がついてしまっています。またそういう番組に医者の奥さんが登場することで、ますますその評価は堅固となっていきます。番組に登場する奥さんも少しは考えがないのかと思いますが…。そこに50万円の寄付です。一般人が見れば、道理は別として、20万人程度の医者が集まる日本医師会としては極端に少ないと思うでしょうね。道理に合わないから出さないとしたほうが、よほどよかったと思います。これではいやいや付き合いで出したって言う感じをもたれてしまいます。

マスコミは、昔から自ら流した情報に対し責任を取りません。また入ってくる情報を自らの考えに合致する都合のいい情報のみ取捨選択して流します。1975年ぐらいまでマスコミは北朝鮮の独裁政権、強権政治を礼賛していましたが、拉致事件、北朝鮮からの難民が話題になっている現在は、以前の事は忘れて口を拭いています。医師会はどうも結果責任を重視しすぎる

ようです。経済諮問会議、鴻池特区担当大臣が小泉首相の意向を踏まえて、病院、診療所の株式会社参入を認めるように画策しています。医療法人でも理事に対して報酬が支払われますが、株式会社では株主に配当が出ます。もちろん、赤字だと無配になりますがそれが続けば会社は倒産します。株主に配当金を出すだけの利益を病院経営で生み出そうとすると、当然今より医療費は増大します。また患者の選別も起こりえるでしょう。厚生労働省、官僚は反対していますが本能的に医療費の増大につながることがわかっていて、常に緊縮が官僚のモットーですから反対しているんだと思います。医師会も将来の結果責任を考えて反対していますが、世間、マスコミは、自分たちのペイが減るからという見方をしているようです。そこで働くのも

医者ですし。経営者は患者を診れませんからその見方は間違っているんですが…。ここでは、責任は考えず、医師会は反対ですが、参入したければどうぞという姿勢のほうがいいかなと思います。将来、困ったとき医師会が評価されるようになるかもしれません。結果責任を念頭において発言すると、責任を考えずに発言する政治家、官僚、マスコミに討論で太刀打ちできません。発言するときは、もっと平易にスローガンのように一般にアピールする言葉で、何か行動を起こすときは過激に世間を驚かすほどにすることが、生真面目な今の医師会に必要なんじゃないかなと考えています。医者の利益だけを考えている圧力団体というレッテルをはがすのは生半可なことでは出来ないと思います。

(宮崎整形外科医院)

札幌市福祉のまちづくり施設整備資金融資制度のご案内

民間事業者が整備する病院、診療所など不特定多数の方が使用する施設を高齢者や身体障害者等が利用しやすいように、スロープ、自動ドア、車いす使用者用トイレ及び障害者対応エレベーターの設置等、バリアフリー化するための工事資金を1件2,000万円までの限度額で低利(現在無利子)融資をしています。

詳しくは札幌市保健福祉局保健福祉部高齢施設課までお問合せください。

札幌市中央区北1条西2丁目札幌市役所本庁舎3階

電話 011-211-2972

FAX 011-218-5179